

# 泌尿器科紀要

**Acta  
Urologica  
Japonica**

**Vol. 52, No. 1 January 2006**

ACTA  
UROLOGICA  
JAPONICA

---

# ACTA UROLOGICA JAPONICA

---

*Editor Emeritus* : Osamu YOSHIDA

---

*Editor* : Osamu OGAWA

*Deputy Editor* : Noriyuki ITO

---

*Advisory Committee*

Shiro BABA  
Katsusuke NAITO  
Taiji TSUKAMOTO

Tadaichi KITAMURA  
Seiji NAITO  
Tsuguru USUI

Masaru MURAI  
Hiroki SHIMA

---

*Associate Editors*

Hideyuki AKAZA  
Yoshihide OGAWA

Kenjiro KOHRI  
Akihiko OKUYAMA

Yoshinobu KUBOTA  
Masayuki TAKEDA

---

*Editorial Board*

Yoichi ARAI  
Takashi DEGUCHI  
Masato FUJISAWA  
Momokazu GOTOH  
Eiji HIGASHIHARA  
Kiyotaka HOSHINAGA  
Kyoichi IMAI  
Hidehiro KAKIZAKI  
Hiroomi KANAYAMA  
Mutsushi KAWAKITA  
Atsuo KONDO  
Toshiaki MANABE  
Kei MATSUOKA  
Tsuneharu MIKI  
Yoshinori MORI  
Mikio NAMIKI  
Katsuya NONOMURA  
Kenji OISHI  
Yoshinari ONO  
Toshiaki SHINKA  
Yoshiki SUGIMURA  
Koji SUZUKI  
Masatoshi TANAKA  
Satoshi TERAMUKAI  
Yoshihiko TOMITA  
Michiyuki USAMI  
Satoshi YAMAGUCHI  
Masayoshi YOKOYAMA

Yoshiaki BANYA  
Shin EGAWA  
Junnosuke FUKUI  
Tomonori HABUCHI  
Yoshihiko HIRAO  
Tomohiko ICHIKAWA  
Nobuhisa ISHII  
Toshiyuki KAMOTO  
Hiroschi KANETAKE  
Takuo KOIDE  
Hiromi KUMON  
Tadashi MATSUDA  
Masahiro MATSUSHIMA  
Hiromitsu MIMATA  
Masayuki NAKAGAWA  
Yasunori NISHIO  
Hiroschi OHE  
Yusaku OKADA  
Seiichiro OZONO  
Taizo SHIRAISHI  
Yoshifumi SUGITA  
Mineo TAKEI  
Toshiro TERACHI  
Ken-ichi TOBISU  
Shoichi UEDA  
Hirohiko YAMABE  
Shingo YAMAMOTO  
Osamu YOKOYAMA

Eitetsu BOKU  
Tomoaki FUJIOKA  
Hideki FUSE  
Masamichi HAYAKAWA  
Shigeo HORIE  
Tatsuo IGARASHI  
Yoshiyuki KAKEHI  
Hiroschi KANAMARU  
Yoji KATSUOKA  
Munekado KOJIMA  
Masaaki KUWAHARA  
Tetsuro MATSUMOTO  
Hideyasu MATSUYAMA  
Ikuo MIYAGAWA  
Tatsuya NAKATANI  
Osamu NISHIZAWA  
Chikara OHYAMA  
Tetsuro ONISHI  
Kenji SHIMADA  
Taro SHUIN  
Kazuhiro SUZUKI  
Hideo TAKEUCHI  
Akito TERAI  
Hiroschi TOMA  
Hirotsugu UEMURA  
Osamu YAMAGUCHI  
Kosaku YASUDA  
Tatsuhiko YOSHIKI

---

*Managing Editor* : Takehiko SEGAWA, Takeshi TAKAHASHI

*Scientific Advisor* : Mieko MIYAKAWA

*Language Editor* : Sumiko KAIHARA

*Secretary* : Kuniko OKUI

(2005.4.)

---

## 購読要項 (2005年1月改訂)

1. 発行は毎月、年12回とし、年間購読者を会員とする。
2. 一般会員は年間予約購読料10,000円(送料とも)を前納する。賛助会員は20,000円(送料とも)とする。払込みは郵便振替に限る。口座番号 01050-9-4772 泌尿器科紀要編集部宛。
3. 入会は氏名、住所を記入のうえ泌尿器科紀要刊行会宛、はがきか FAX にて申し込めば所定の用紙を送付する。

## 投稿規定 (2005年1月改訂)

1. 投稿：連名者を含めて会員に限る。
2. 原稿：泌尿器科学領域の全般にわたり、総説、原著、症例報告、そのほかで和文または英文とする。原著、症例報告などは他の雑誌に発表されたことのない内容でなくてはならない。
  - (1) 総説、原著論文、その外の普通論文の長さは、原則として、刷り上がり本文5頁(400字×20枚)までとする。
  - (2) 症例報告の長さは、原則として、刷り上がり本文3頁(400字×12枚)までとする。
  - (3) 和文原稿はワープロを使用し、B5またはA4判用紙に20×20行、横書きとする。年号は西暦とする。文中欧米語の固有名詞は大文字で、普通名詞は小文字で始め(ただし、文節の始めにくる場合は大文字)、明瞭に記載する。
    - (イ) 原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名の順で和文で記載する。筆頭者名と、2語以内の running title を付記する。  
例：山田、ほか：前立腺癌・PSA
    - (ロ) 和文の表紙、本文とは別に、英文標題、英文抄録をつける。標題、著者名、所属機関名、5語(英文)以内の Key words、抄録本文(250語以内)の順にB5またはA4判用紙にダブルスペースでタイプする。別に抄録本文の和訳を添付する。
    - (ハ) 原稿は、和文標題、英文標題、英文抄録、その和訳、緒言、対象と方法、結果、考察、結語、文献、図表の説明、図、表の順に配置し、原稿下段中央部に和文標題ページを1とするページ番号を付ける。
    - (ニ) 原稿の作成にあたっては、泌尿器科用語集(日本泌尿器科学会編)に準拠すること。略語については本誌投稿規定前ページの「泌尿器科紀要略語一覧」を使用すること。
  - (4) 英文原稿はA4判用紙にダブルスペースでタイプし、原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名、Key words(和文に準ず)、running title(和文に準ず)の順にタイプし、別に標題、著者名、所属機関名、抄録本文の順に記した和文抄録を英文原稿の後に添付する。和文原稿と同様にページ番号を付ける。
  - (5) 図、表は必要最小限にとどめ、普通論文では図10枚、表10枚まで、症例報告では図5枚、表3枚までとする。  
図、表、写真などはそれぞれ台紙に貼付し、それらに対する説明文は別紙に一括して一覧表にする。図、表のタイトルおよび説明文は可能な限り英文とする。原稿右欄外に挿入されるべき位置を明示する。写真はトリミングし、図・表は誤りのないことを十分確認のうえ、トレースして紙焼したものが望ましい。様式については本誌の図・表を参照する。写真は明瞭なものに限り、必要なら矢印(直接写真に貼付)などを入れ、わかりやすくする。
- (6) 引用文献は必要最小限にとどめ、引用箇所引用文献番号を入れる。文献番号は本文の文脈順に付すこと(アルファベット順不可)。その数は30までとする。  
例：山田<sup>1,3,7)</sup>、田中ら<sup>8,11-13)</sup>によると…  
雑誌の場合 — 著者名(3名まで、それ以上のときは「ほか」「et al.」とする)：標題、雑誌名、巻：最初頁-最終頁、発行年  
例 1) Kallble T, Tricker AR, Friedl P, et al.: Ureterosigmoidostomy: long-term results, risk of carcinoma and etiological factors for carcinogenesis. J Urol **144**: 1110-1114, 1990  
例 2) 竹内秀雄, 上田 眞, 野々村光生, ほか: 経皮的腎砕石術(PNL)および経尿道的尿管砕石術(TUL)にみられる発熱について. 泌尿紀要 **33**: 1357-1363, 1987  
単行本の場合 — 著者名(3名まで、それ以上のときは「ほか」「et al.」とする)：標題、書名、編集者名(3名まで、それ以上のときは「ほか」「et al.」とする)。版数、巻数、引用頁、発行所、出版地、発行年  
例 3) Robertson WG, Knowles F and Peacock M: Urinary mucopolysaccharide inhibitors of calcium oxalate crystallization. In: Urolithiasis Research. Edited by Fleish H, Robertson WG, Smith LH, et al. 1st ed, pp 331-334, Plenum Press, London, 1976  
例 4) 大保亮一: 腫瘍病理学. ベッドサイド泌尿器科学, 診断・治療編. 吉田 修編. 第1版, pp 259-301, 南江堂, 東京, 1986
- (7) 投稿にあたっては、本誌を十分参考にして体裁を守ること。
- (8) 総説、原著論文は4部、症例報告、その他の論文は3部を書留で送付する。万一にそなえて、コピーを手元に控えておくこと。

(原稿送付先) 〒606-8392 京都市左京区聖護院山王町18 メタボ岡崎301号 泌尿器科紀要刊行会宛

3. 論文の採否：論文の採否は Editorial board のメンバーによる査読審査の結果に従い決定される。ただし、シンポジウムなどの記録や治験論文については編集部で採否を決定する。
4. 論文の訂正：査読審査の結果、原稿の訂正を求められた場合は、40日以内に、訂正された原稿に訂正点を明示した手紙をつけて、前記泌尿器科紀要刊行会宛て送付すること、なお、Editor の責任において一部字句の訂正をすることがある。
5. 採択論文：論文が採択された場合、原稿を3.5インチフロッピーディスク・MO ディスク・CD-R・CD-RW のいずれかに保存し、編集部へ送付する。ディスクには論文受付番号・筆頭著者名・機種名・ソフトウェアとそのバージョンを明記する。Windows の場合は MS-Word・一太郎、また Macintosh の場合は EG-Word・MS-Word とし、特に Macintosh においては MS-DOS テキストファイルに保存して提出すること。
6. 校正：校正は著者による責任校正とする。著者複数の場合は校正責任者を投稿時指定する。
7. 掲載：論文の掲載は採用順を原則とする。迅速掲載を希望するときは投稿時にその旨申し出ること。
  - (1) 掲載料は1頁につき和文は5,775円(税込)、英文は6,825円(税込)、超過頁は1頁につき7,350円(税込)、写真の製版代、凸版、トレース代、別冊、送料などは別に実費を申し受ける。
  - (2) 迅速掲載には迅速掲載料を要する。5頁以内は31,500円(税込)、6頁以上は1頁毎に10,500円(税込)を加算した額を申し受ける。
  - (3) 薬剤の効果、測定試薬の成績、治療機器の使用などに関する治験論文および学会抄録については、掲載料を別途に申し受ける。
8. 別刷：30部までは無料とし、それを超える部数については実費負担とする。著者校正時に部数を指定する。

#### Information for Authors Submitting Papers in English

1. Manuscripts, tables and figures must be submitted in three copies. Manuscripts should be typed double-spaced with wide margins on 8.5 by 11 inch paper. The text of all regular manuscripts should not exceed 12 typewritten pages, and that of a case report 6 pages. The abstract should not exceed 250 words and should contain no abbreviations.
2. The first page should contain the title, full names and affiliations of the authors, key words (no more than 5 words), and a running title consisting of the first author and two words.  
e.g.: Yamada, et al.: Prostatic cancer · PSAP
3. The list of references should include only those publications which are cited in the text. References should not exceed 30 readily available citations. Reference should be in the form of superscript numerals and should not be arranged alphabetically.
4. The title, the names and affiliations of the authors, and an abstract should be provided in Japanese.
5. For further details, refer to a recent journal.

#### 編 集 後 記

正月の帰省から京都に帰る新幹線の中で、数学者藤原正彦氏の「国家の品格」という新書を読んでいる。内容は、アメリカ流の論理重視、合理性優先の価値観から脱却し、日本人がはぐくんできた品のある情緒を見直すことで国際社会から尊敬される品位を取り戻そうという提案である。日本の武士道精神には、「もののあわれ」、「恥を知る」、「卑怯をよしとしない」などという、これまで日本人が大切にしてきた高い感性が集約されているという。また、数学のような論理最優先の学問ですら、最終的なキーポイントは美しいものを愛でる感性だそう。最近の耐震構造計算書偽造事件、また株の誤発注につけこんだ大儲け事件などを見ると、卑怯で恥を知らない日本人が増えていることは間違いないようである。7年前の教授就任の挨拶で「私は田舎育ちで教養もない粗野な人間ですが、卑にはなりません。」と同門会の皆さんの前で約束したことを思い出す。本の内容自体には賛否両論あろうが、これからの医療を牽引すべき皆さんには読む価値のある一冊かもしれない。

正月を郷里で過ごすのは20年ぶりである。中学校時代の同窓会に参加し、懐かしい顔に再会した。会社を興し社長さんになっているものも、すこし危なっかしい業界で働いているものもいたが、「おまえが出世頭だ。」と皆で喜んでくれた。ちなみに故郷を大切にすることというも日本人の大切な感性のひとつだそう。

(小川 修)